学校名	美麻小学校
ホームページURL http://www.vill.miasa.nagano.jp/school/index.htm	児童・生徒数　96 名

(1) テーマ	(2) 活動の単位に○をつけてください
「デイサービスセンターのお年寄りと仲良くう。」 テーマの分類（ ①ーエ ） 下記の欄外記載事項を参照してください。	学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他（　　） 該当学年　5 年　(回答可能な場合)

(3) 活動のねらい

村のデイサービスを利用するお年寄りとの交流を通して，一人一人の子どもたちとお年寄りとが仲良くなる。お年寄りの姿から人間としての豊かさや優しさを学び，また，昔の美麻の様子，生活，遊びなど，子どもたちが興味・関心を持った事柄についてお年寄りから学んだり，一緒に体験したりする。交流を続ける中で，お年寄りと関わる福祉の仕事に目を向け，自分たちのできる活動を見つけだし，取り組んでいくことができる。

(4) 活動の実際（活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等）

・デイサービスセンターの訪問（10月より）
（一月に2回程度訪問し，めあてにそって一緒にレクリエーションを楽しんだり，お茶を飲んで話したりしながら，お年寄りと仲良くなる。）
・訪問を振り返っての感想を書き，それをもとに学級で話し合いをもち，次回の訪問ではどのようなことをしたいかめあてを持つ。

時数（36時間の予定）

(5) 指導体制（校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等）

・担任が引率し、必要に応じて専科・教頭先生に応援してもらう。
・村社協のボランティアコーディネーター，デイサービススタッフとの打ち合わせをおこなう。
・デイサービス利用者のお年寄り一人一人が子どもたちの先生になる。

(6) 指導上の留意点（時間数の取り扱い，各教科との連携，家庭・地域との連携等）

・訪問は月2回、1回2時間。反省・めあてを持つ時間が1時間。
・学級としてデイサービスセンターの訪問を続けていくために，月1回程度学級活動の時間に情報交換や学級としての活動の進め方の話し合いを持つ。
・訪問の準備やお年寄りから学んだことのまとめは各教科の時間に位置づける。
・交流の様子を家庭に通知したり、ホームページにのせたりする。

(7) 評価（基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際）

・子どもたちとお年寄りのかかわりの中から一人一人の学びや活動の変化をとらえる。
・訪問後に必ず、訪問の様子と感想をノートに書き留めていく。子どもたちは，その中から自分の変化を読み取り，自分の活動の良さを見つめ直す。担任は、とらえきれなかった子どもの動きや気持ちの変化を読み取る。
・デイサービススタッフとの打ち合わせから子どもたちやお年寄りの様子を聞く。

(8) 成果と課題（まだ，取り組みは始まったばかりであるが）

・担任の考えで始まった活動だが，訪問の経験を重ねる中で，お年寄りに対してよいイメージを持つ子どもたちが多くなってきている。
・自分がしたことをお年寄りが大変喜んでいるということを実感し，活動に意欲がでできた。
・まだ，学級全体の活動という感じが強く，これから交流を進める中で，子どもたち一人一人がどう活動を深めていくかが課題。

※テーマの分類　①横断的・総合的な課題（①ーア　国際理解　①ーイ　情報　①ーウ　環境　①ーエ　福祉・健康　①ーオ　その他）　②児童生徒の興味・関心に基づく課題　③地域や学　校の特色に応じた課題